

たきかわCS通信

滝川市教育委員会 教育部 教育総務課 令和2年 8月21日発行 ー 第 14 号 ー



～ 学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子どもを育てる体制～ 【実践例紹介】

 江部乙中学校 1.2年生 総合の授業



講師 高見養蜂場 代表 高見 純一さん

～ 自然界の役割をしっかりと果たした ～

蜂たちの努力の結晶 国産天然はちみつ



各学校では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながらも少しずつ教育活動を広げています。今回は、CS通信第13号に引き続き、滝川市立江部乙中学校の外部講師による総合の授業をご紹介します。

7月20日（火）、江部乙中学校の1.2年生は、高見養蜂場代表高見純一さんから『はちみつの生産や加工の方法』、『はちみつへの思いや心がけていること』等、色々なことを教えていただきました。

お話は大きく下記の3つの内容に分かれていました。授業は高見さんの説得力のある温かい口調で進んでいきました。

1. 高見さん自身のプロフィール
2. 生産、加工の方法
3. 生産者の思いや心がけていることなど



高見純一さん

高見さんがこの仕事を始められたのは、お父様が養蜂業を営んでおられたことが大きなきっかけだったそうです。勤め始めた頃は、あまり魅力を感じてはいなかったそうですが、花粉を運んで花の蜜を吸う花粉交配という自然界の大切な役割

を蜂たちがしっかりと果たしていることや健気に子育てをしている姿等を見て、大変蜂が可愛らしくなってきたそうです。

そうすると、蜂にも愛情が湧き、養蜂業という仕事に大変魅力を感じるようになったとのことでした。



「地域とともにある学校づくり」の一貫として、江部乙町で高見養蜂場を経営されている高見さんに、はちみつの生産にかかわる貴重なお話をたくさん伺いました。特に、冬は蜂と共に長崎県の五島列島に渡り蜂の世話をされているなど、たくさんのご苦労がありながらも、養蜂業に対する誇りや生きがいを持って働いていらつやるといことが、生徒たちにしっかりと伝わったように思います。今後も、江部乙町への愛着を育み、誇りを持てるような活動を継続して参りたいと思います。



江部乙中学校



鳥谷部賢太校長・橋本孝博教頭

養蜂業の仕事は、はちみつ採集だけではなく、ローヤルゼリーやプロポリス採集、果物や野菜の花粉交配の仕事等もされているそうです。花粉交配の仕事は、主にメロンやなす、いちご、トマトなどのハウス栽培をされている農家の方から委託され、蜂の巣箱ごと移動されるそうです。



また、「蜂の越冬」のために、11月20日頃から翌年の5月の中頃まで、



トラックとフェリーを使って長崎県の五島列島に渡り、産卵・繁殖・飼育等、大切に養育するそうです。



特に、移動中は箱に衝撃が加わると、蜂が暴れたり騒いだりすることによって身体の筋肉を震わせ熱を放出してしまい、そのことによって箱の中の温度が上昇し(70°位迄上昇することもある)、蒸殺(むしころ)されてしまうことがあるそうです。そうなるのが一番辛いので細心の注意をはらいながら移動するそうです。

そして、5月の中頃に北海道に戻り、菜の花、次にアカシア、7月頃からは、蕎麦やシナの木のはちみつ採集等にとりかかるそうです。(お話の後、はちみつの試食会がありました。)



プレゼント
されたはちみつです。



授業の様子

菜の花はちみつ



高見純一さんのお話



はちみつの試食



全体の授業の様子



はちみつの試食

「蜂の越冬」のために、ご夫婦で蜂と共に長崎県の五島列島に渡り、蜂の世話をされることや、はちみつの生産方法など多くのことを学ぶことができました。大変貴重なお話を、本当にありがとうございました。



司会 川原かおる先生



質問コーナー

蜂を飼育することやはちみつを生産することの大変さを知ることができました。また、江部乙にこんなにおいしい特産があることがわかり、本当に良かったです。ありがとうございました。

採集されたばかりの花の蜜の糖濃度は40%未満と低いのですが、巣に持ち帰り、蜂によって水分を発散させる作業が行われると、糖濃度は80%前後に上昇するそうです。その後遠心分離機によって採蜜するそうです。最後に、高見さんは、

「今は、まだ、何をしたいとか何になりたいとか何もなくても、将来生きていくと、あなたは必要とされている存在としてきっと気付くはず。あなたにできることが必ずあるはず。それに気付いた時は、後悔しないように一生懸命頑張ってください。」

と一人一人が役割を持って生まれた大切な存在であることも伝えてくださいました。

この授業を通して、はちみつの生産・加工の方法だけではなく、蜂たちに対する深い愛情や仕事に対する心構え、態度など、将来の指標となる大切なことも教えていただきました。自分の将来にぜひ生かしてほしいと心から思います。



お礼の言葉

高見さんの蜂たちに対する敬愛の念、とても感動致しました！ありがとうございました！

